

Title	序
Sub Title	
Author	竹田, 龍児(Takeda, Ryuji)
Publisher	三田史学会
Publication year	1967
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.40, No.2/3 (1967. 11) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	松本信廣先生古稀記念
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19671100-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

慶応義塾大学教授松本信廣先生には本年十一月十一日を以て目出度く古稀の寿に達せられることになつた。

先生は東京芝愛宕町に生れられ、明治四十三年本塾普通部に入学、それより大学予科を経て、大正九年大学文学科（史学）を卒業され、直ちに普通部教員となられた。ついで大正十三年フランスに留学せられ、ソルボンヌ大学において名誉あるドクトール・エス・レトルの國家学位を取得して昭和三年帰朝された。帰国後、先生がフランス東洋学の斬新な研究方法をわが国に紹介導入することによつて学界に新風を吹き送られた功績はまことに没すべからざるものがあると思ふ。

先生の本塾内外における学問的活動は甚だ旺んで、その学問的関心は史学・民族学・考古学・人類学・言語学・宗教学・社会学などにわたつており、先生はそれぞれの分野において数々の輝しい業績をあげておられる。

先生は母校の教壇に立たれること四十余年の久しきに及び、その間、外国語学校長、文学部長、言語文化研究所長、大学院社会学研究科委員長、三田史学会長などの要職を兼任されて、本塾の學術の

振興と後進の養成指導に尽瘁され来つたのである。他方では東京教育大学・東京都立大学・香港中文
大学などに出講され、また研究調査のために中国大陸・インドシナ・南洋諸島・ニューギニアに赴か
れるなど常に精力的な活動をつづけてこられた。その他、日本民族学協会委員長や日本歴史学協会会
長などをもつとめられ、最近も益々御壮健で日本学術会議員として、またアジア・アフリカ言語文化
研究所運営委員会委員として、わが国の学問の進歩発展と国際交流のために奔走しておられたことは
邦家のために喜びに堪えないところである。

ここに先生が古稀の高寿を迎えられるに当り、多年にわたつて提撕誘掖を忝けなくした同室門下が
相謀つて記念号を編んで先生に捧げ、以て慶賀の微意を致さんとするものである。

先生が今後益々齢を重ねられ学界のために御活躍下さらんことを祈願してやまない。

昭和四十二年十一月

竹 田 龍 児